

原子レベルの微小欠陥や空隙を評価できる装置を市販化 陽電子寿命測定を簡便に

連携先：東洋精鋼株式会社

企業概要

所在地：愛知県弥富市

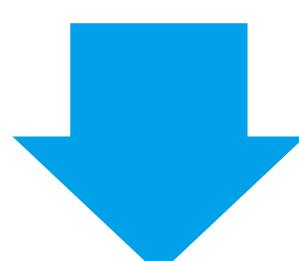
事業概要：材料強化(疲労強度向上等)のための金属表面加工技術(ショットピーニング)に関する製造・加工・検査等の一連業務。

連携成果の概要・特徴

本装置は、特許技術「アンチコインシデンス法」と専用ソフトウェアにより陽電子寿命測定が簡単にできます。

特徴：

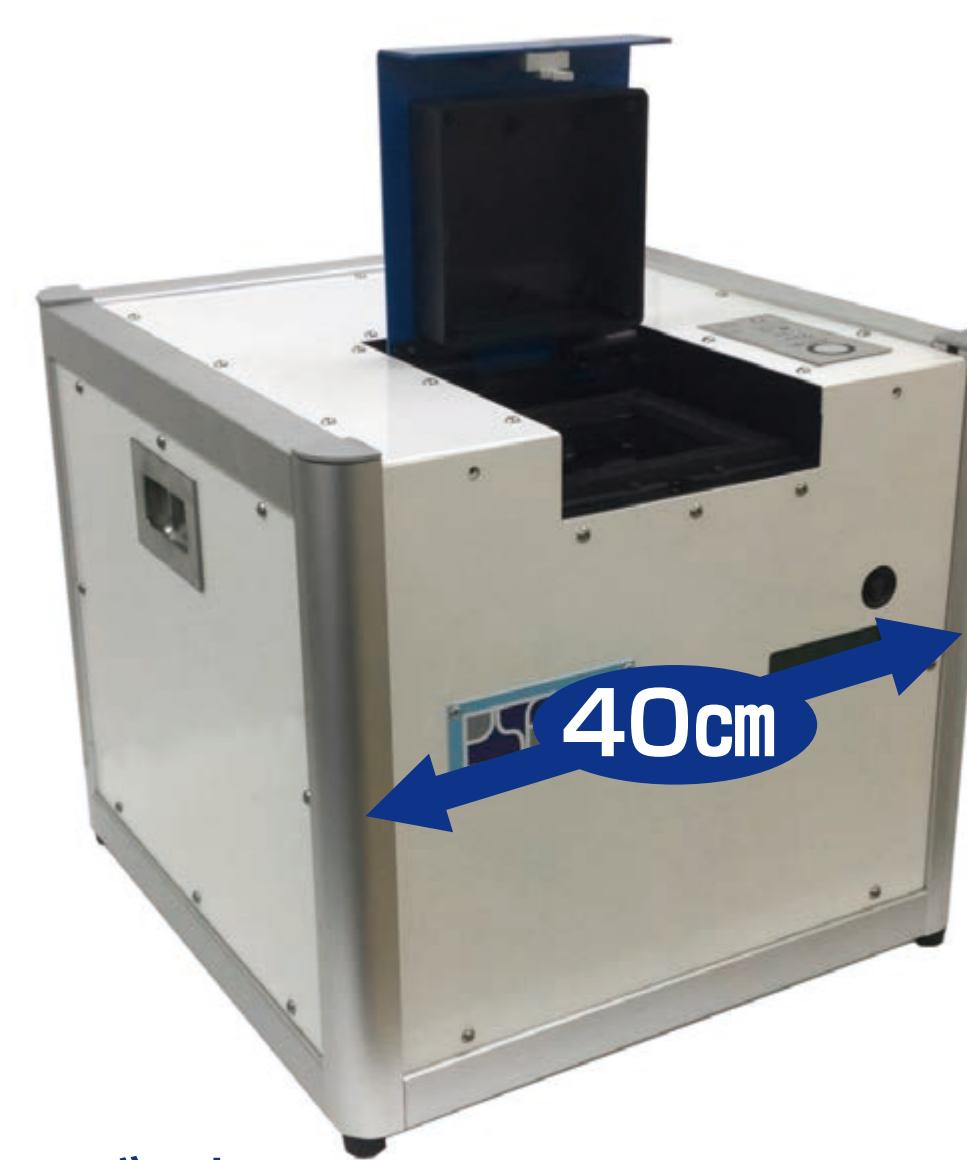
- 測定作業・操作が簡便
- 一般の実験室に設置可能
- 非破壊で測定可能



超微細な空隙や欠陥の簡単評価へ

→革新的機能性材料の製造・開発(ラボ型)

→金属疲労等のオンサイト測定(ポータブル型)



ポータブル型(Type LP)
金属疲労等のオンサイト測定向け
※2018年販売開始



ラボ型(Type L-II)
材料研究や製造開発分野向け
※2016年販売開始

市販化した陽電子寿命測定装置「PSA」
※自社検査工程の効率化、2台納品済

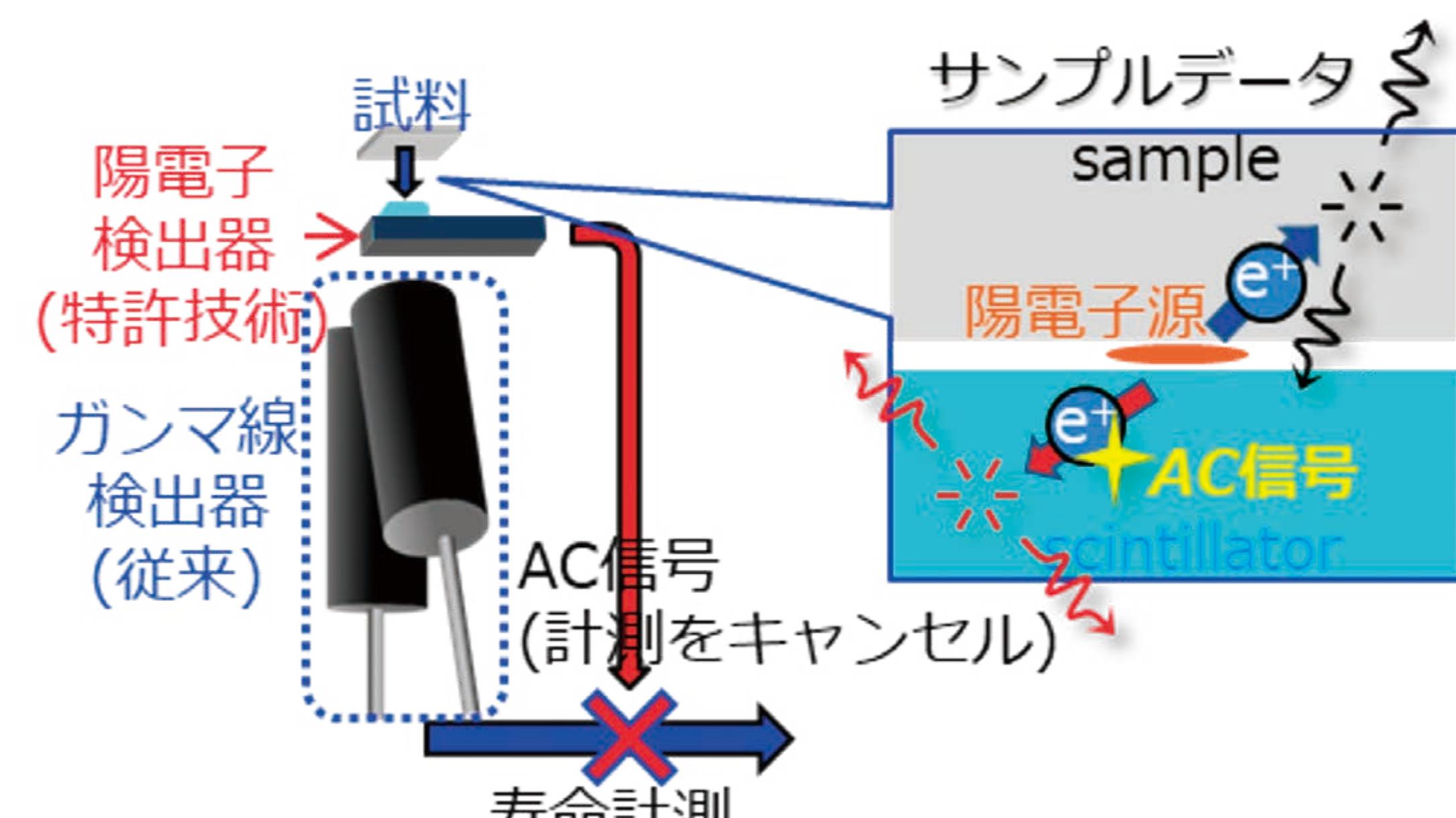
産総研の貢献

- 一枚の試験片で測定を可能にするアンチコインシデンス法
- 装置の調整・制御から解析まで実行するソフトウェア
- 計測の信頼性を担保する技術(認証標準物質等)

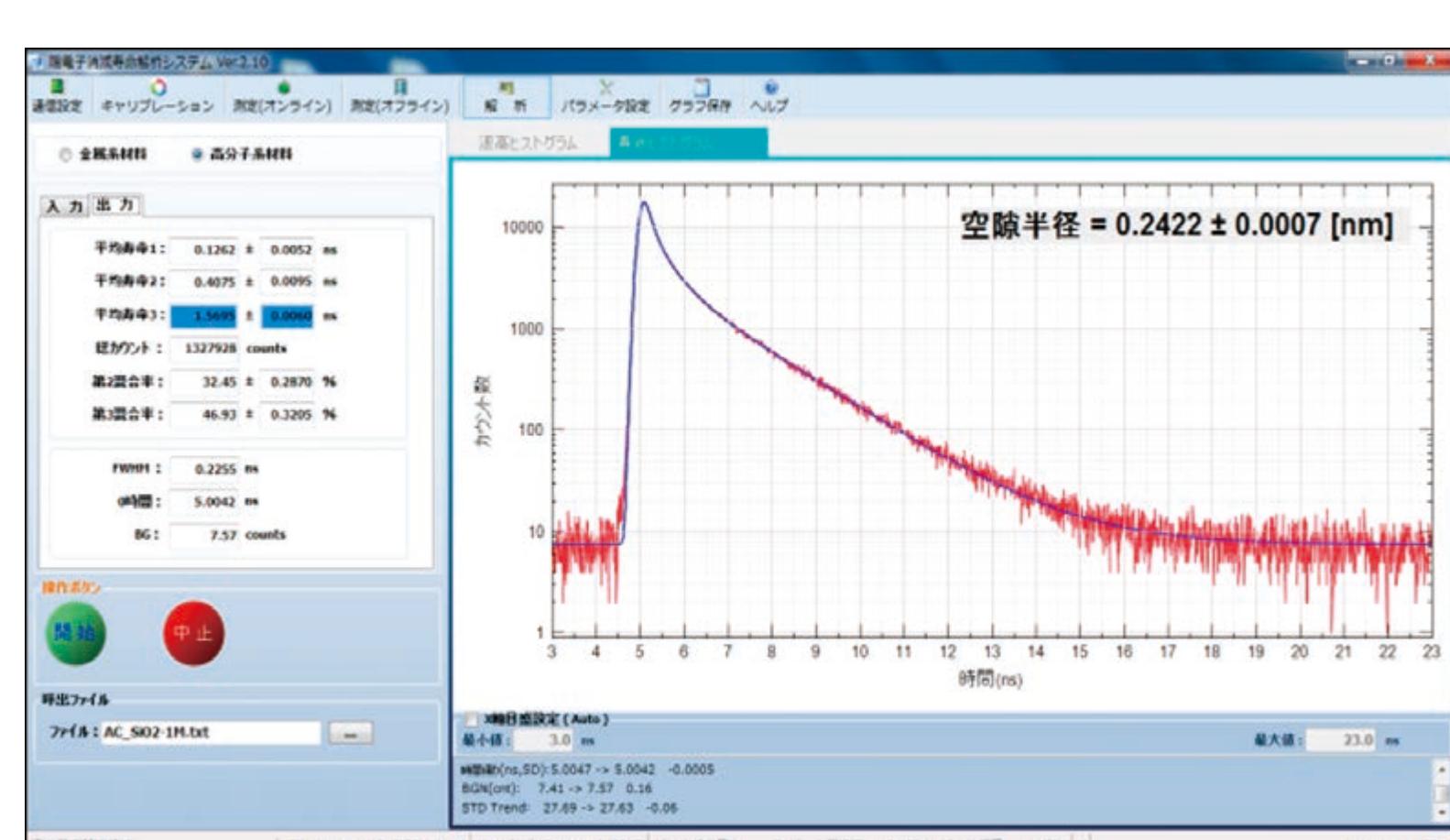


経験のないユーザーでも簡単に作業・操作ができるように
ノウハウを集約

※関連知財：特許第5843315号、US特許第8785875号、
プログラム(H28PRO-1942)、特願2016-173997、
意願2018-019056、特願2018-228103



アンチコインシデンス(AC)法
(測定作業が簡便に&オンサイト測定も実現)



PSA専用ソフトウェア
(自動化により簡単に測定)



産総研認証標準物質
(装置の設計やバリデーションに活用)

お問い合わせ先

山脇 正人

物質計測標準研究部門

連絡先：計量標準総合センター nmij-info-mi@aist.go.jp